

不当逮捕の農家を無罪奪還！

“市道閉鎖” 身体を張って 阻止する！



成田市民のみなさん！ 市役所職員のみ
なさん！

成田市道（十余三・天神峰線）の閉鎖看板に抗議して不当に逮捕された農家が、8日、なんら罪に問われることなく、私たちがのもとに帰りました。まったくデタラメな23日間の不当勾留に、私たちは怒りを抑えることができません。

「3日後通れぬ、迂回しろ」

——空港会社の違法カンパン

そもそも、なんら権限のない空港会社が、道路閉鎖を通告する看板を公道に立てること自体が違法です。しかも成田市は、道路

を廃止するのに必要な、隣接地権者（当該農家）や利用者の承諾書なしに手続きを進めてきました。農家の抗議はまったく正当！ 非は空港会社と成田市にある！ 無罪奪還は当然の結末なのです。

現地緊迫！

6・27全国結集大闘争へ！

ところが小泉市長は14日、これまでの非をかえりみることなく、空港会社との間で道路の売買契約を結びました（別掲）。市道閉鎖の動きです。

市道をめぐる闘いはふたたび緊迫。6月27日、天神峰現地で全国結集の大闘争に立ち上がり、身体を張って阻止する決意です。（6月16日）

小泉市長が空港会社と売買契約（6/14）

農家の同意なしの違法手続き、不当逮捕のあげくの暴挙

小泉市長が14日、空港会社と結んだ契約はまったくひどいもの。約1・3キロの道路の売り渡し額が、なんと743万円。一坪わずか1万円足らず！

——破格の優遇と農家への弾圧。背後にあるのは、成田空港のゆきづまりです。大不況による航空需要の低迷と羽田ハブ（基幹空港）化で、おいつめられた空港会社は、場当たりに誘導路建設計画を打ちだして市道廃止や農地取り上げを策す一方、2分に1回の着陸騒音で、農家に移転を迫る圧力を強めています。

格安、なんと743万円！
一坪1万円足らず

住民の命と市民の権利を守るため、私たちは闘います。

